

表3 試験的に選定された脳卒中インディケータ

- 1) 病院到着前のケア
 - (1) 適切な地域からの搬送 (救急隊別%)
 - (2) 119番通報から現着までの時間
 - (3) トリアージスケールを用いた率
 - (4) 現着から病院到着までの時間
- 2) 救命処置から脳卒中ユニットまで
 - (1) 入院からCT/MRIまでの時間 (<24h撮影率)
 - (2) 脳梗塞、TIA患者各々の発症から入院までの時間
 - (3) 発症3時間以内来院患者中のt-PA静注療法施行率
 - (4) t-PA治療患者の退院時 mRS (死亡率)
 - (5) t-PA治療患者で Door-to-needle time.<1hの率
 - (6) t-PA治療患者で Door-to-CT time.<25minの率
- 3) 脳卒中専門病棟 (SU) 治療
 - (1) SUで治療された急性期脳卒中患者の率 (対 全脳卒中患者)
 - (2) SUで治療された急性期脳卒中患者の率 (対 <3日以内かつ発症3時間以内)
 - (3) 来院患者中のt-PA静注療法施行率
 - (4) SUで治療された急性期脳卒中患者の率 (対 <7日以内脳卒中患者率)
 - (5) 24時間以内に嚥下評価され記録される率 (対 <3日以内脳卒中患者)
 - (6) 3日以内にPTの評価 (対 <3日以内脳卒中患者)
 - (7) 7日以内にOTの評価 (対 <3日以内脳卒中患者)
 - (8) 7日以内にSTの評価 (対 <3日以内脳卒中患者)
 - (9) 14日以内に多職種会議、ゴール設定 (対 <3日以内脳卒中患者)
 - (10) 退院時ワーファリン使用率 (対 心房細動を有する脳梗塞患者)
 - (11) 肺塞栓症発生率 (入院期間中)
 - (12) 経食道エコー施行率 (対 脳梗塞、TIA患者)
 - (13) 頸動脈エコーまたは頸動脈を含むMRAが施行率 (対 脳梗塞、TIA患者)
- 4) 全般的なアウトカム
 - (1) 全年齢の脳卒中患者数
 - (2) 入院期間
 - (3) 入院時NIHSS
 - (4) 退院時NIHSS
 - (5) 退院時mRS
 - (6) 48時間以内の再入院率
- 5) 地域医療 (将来追加予定)
 - (1) 地域連携パス使用率
 - (2) 1,6,12ヶ月目のmRS

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表（書籍）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
峰松一夫	Stroke Care Unit (SCU)とStroke unit (SU)のあり方と現状	柳澤信夫、篠原幸人 岩田誠、清水輝夫 寺本明	Annual Review神経 2007	中外医学社	東京	2007	114-121
峰松一夫 上原敏志	Stroke unit, Stroke care unitは 脳卒中患者の予後を改善するか	岡本幸市、棚橋紀夫 水澤英洋	EBM: 神経疾患の治療	中外医学社	東京	2007	157-160
長谷川泰弘	脳卒中急性期治療の実際 14. 急性期リハビリテーション	井林雪郎	フアーマナナビゲータ ー脳卒中編	メデイカル レビュー社	東京	2006	326-331
長谷川泰弘	Stroke Care Unit (SCU)の組織・ 体制・運営 Stroke Care Unit- Orgnization, System and Management.	永山正雄、濱田潤一	神経救急・集中治療 ハンドブックー Critical Care Neurology	医学書院	東京	2006	408-412

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
峰松一夫、上原敏志、安井信之、畑隆志、植田敏浩、岡田靖、豊田章宏、成富博章、豊田百合子、長谷川泰弘	わが国におけるStroke Unitの有効性について-「わが国におけるstroke unitの有効性に関する多施設共同前向き研究」(厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業, 主任研究者: 峰松一夫) の中間解析結果を中心に-	脳卒中	29(1)	59-64	2007
長谷川泰弘、安井信之、畑隆志、岡田靖、豊田章宏、豊田百合子、成富博章、峰松一夫	Stroke Unitの現状と課題: 急性期脳卒中診療体制に関する全国アンケート調査から	脳卒中	28(4)	545-549	2006
豊田章宏、山根冠児、安井信之、畑隆志、岡田靖、長谷川泰弘、成富博章、峰松一夫	わが国のStroke unitにおけるリハビリテーション	脳卒中	29(1)	38-43	2007
峰松一夫	Brain Attack-update 血栓溶解療法	臨床神経学	45(11)	840-843	2006
峰松一夫	わが国の脳梗塞急性期医療の実態と今後の展望. インターベンション時代の脳卒中学 (改訂第2版) 上-超急性期から再発予防まで-	日本臨床	64(7)	43-46	2006
中島隆宏、峰松一夫	急性期虚血性脳血管障害に対する線溶解療法の現状と将来展望	日本血栓止血学会誌	17	402-409	2006
中島隆宏、豊田一則、高田達郎、河野浩之、佐藤祥一郎、吉村壮平、李眞英、山田直明、成富博章、峰松一夫	発症3時間以内の来院患者への救急対応の現状: 脳梗塞アルテプラザー静注療法に備えて	脳卒中	28(4)	658-660	2006

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yakushiji Y, Otsubo R, Hayashi T, Fukuchi K Yamada N, Hasegawa Y Minematsu K	Glucose utilization in the inferior cerebellar vermis and ocular myclonus.	Neurology	67	131-133	2006
矢崎直子、平山俊和、山田浩史、長谷川泰弘	脳梗塞慢性期における血小板自然凝集能の臨床的検討	聖マリアンナ医科大学雑誌	34(4)	269-275	2006
渡邊裕文、長谷川泰弘	PET検査で何がわかるか?どこまで進歩したか?	脳と循環	11(2)	119-122	2006
長谷川泰弘	t-PA静注療法におけるSCU・SUの重要性	—成人病と生活習慣病— —The Journal of Adult Diseases 日本成人病(生活習慣病)学会準機関紙	36(5)	505-508	2006
長谷川泰弘	最近の研究に学ぶPROGRESS	高血圧(第3版) 下—最新の研究動向— Hypertension (2)	64(6)	396-401	2006
鈴木明文	アルテプラザー静注療法と診療体制	脳と循環	12(1)	29-33	2007
岡田 靖、後藤聖司、陣内重郎、緒方利安、矢坂正弘、安森弘太郎、井上 亨	急性期脳卒中の受け入れ体制の整備と問題点 . -Stroke Care Unitとrt-PAを中心に.	脳卒中	28	649-653	2006

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
矢坂正弘、岡田 靖、井上 亨、吉川博政、朔 元則	福岡市内の病院勤務医師・歯科医師を対象とする抜歯時の抗血栓療法に関するアンケート調査.	脳と神経	58	857-863	2006
岡田 靖	連携医療のあるべき姿を追求.	医療経営情報	169(6)	49	2006
七田 崇、緒方利安、岡田 靖	脳梗塞の急性期血行再建療法の現状 rt-PA静注療法について.	脳と循環	11	185-189	2006
陣内重郎、岡田 靖	脳梗塞 治療とケアの最前線 t-PA経静脈的血栓溶解療法とは？	Expert Nurse	25	22-25	2006
姉川敬裕、陣内重郎、岡田 靖	rt-PAで変わる！日本の脳卒中診療とケア態勢.	看護技術	52	616-619	2006
陣内重郎、岡田 靖	急性期脳卒中の診療体制- Stroke Unitを中心に	看護技術	52	620-623	2006
齊藤正樹、岡田 靖	これからの急性期脳卒中医療と診療連携.	脳と循環	12	39-44	2007
長谷川泰弘	脳卒中診療システムとSU(stroke unit), SCU(stroke care unit)	インタベンション時代の脳卒中学(改訂第2版)上 一超急性期から再発予防まで— Cerebral Stroke in the Intervention Era (1)	64(7)	792-797	2006

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
山田浩史、長谷川泰弘	心原性脳塞栓の一次予防・再発予防と予後 (Primary and secondary prevention of cardioembolic stroke)	インターベンション時代の脳卒中学(改訂第2版)下—超急性期から再発予防まで— Cerebral Stroke in the Intervention Era (2)	64(8)	186-191	2006
清水高弘、長谷川泰弘	心原性脳塞栓症の頻度統計	インターベンション時代の脳卒中学(改訂第2版)下—超急性期から再発予防まで— Cerebral Stroke in the Intervention Era (2)	64(8)	160-165	2006
長谷川泰弘、千川芳弘、 伊藤健二郎、岸博久、 加茂力	脳梗塞診療に対する病診連携ネットワークと治療の 現状	Nikkei Medical 神奈 川版 Fighting Vascular Events- Stroke Prevention Program- エリア座談会(川崎・ 横浜北部)	469	1-4	2006
渡邊裕文、堀内正浩、白 石眞、佐々木直、鈴木孝 昭、長谷川泰弘	脊髄小脳変性症の病型とSPECT低灌流域分布の 関連：eZISによる統計解析	第18回日本脳循環代謝 学会総会	18(3)	121	2006